

東日本大震災に学ぶ

東日本大震災の発生より2年半が経過しました。ひとつの大災害が発生すると、それ以前の災害における体験と教訓が必要とされます。東日本大震災に対しても、阪神・淡路大震災の経験が、様々な形で活用されてきました。しかし、二つの災害の状況が大きく異なることもあり、支援活動は現地のニーズに合わせた工夫を行いながら、今もなお継続されています。

近いうちに発生が予測される大震災に備えるためにも、東日本大震災における活動から多くを学ぶ必要があります。兵庫県こころのケアセンターでは、こころのケアに関する活動の実際を、現場で重要な役割を担ってきた方々に活動を紹介してもらいながら、共に学んでいくことを目的としてセミナーを開催します。

今年度は、宮城県南三陸町の工藤保健師をお迎えします。皆様ふるってご参加ください。

日時 : 平成 25 年 11 月 30 日 (土) 14 時～16 時

場所 : 兵庫県こころのケアセンター 中研修室
神戸市中央区脇浜海岸通1丁目3番2号
<http://www.j-hits.org/>

対象 : 災害医療、災害救援、こころのケアなどに係わる専門職
(医師、看護師、保健師、心理職、ソーシャルワーカーなど)

セミナー内容 :

講師 : 宮城県南三陸町 保健福祉課健康増進係

工藤 初恵 技術副参事兼健康増進係長 (保健師)

工藤氏は、昭和 59 年に南三陸町役場に入職以後、地域保健を担う保健師として南三陸町で積極的な活動をされてこられました。南三陸町は、800 名を超える人的被害とともに、住民の 6 割以上が避難生活を余儀なくされるなど、震災により大きな被害を受けた地域です。

今回のセミナーでは、工藤氏より南三陸町役場の初動期の体制や現場での体験を振り返ってもらうことで、今後予測される災害に対して、何が現場で必要とされているのか、私たちがどのような準備をすることができるのかを学んでいきたいと考えています。

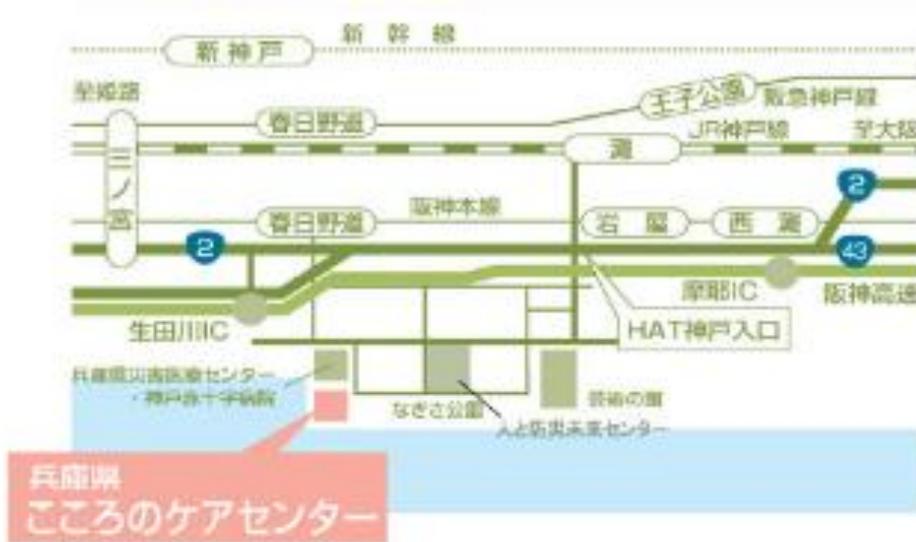
また、2年半が経過した被災地では、住宅移転、災害公営住宅への入居など復興期の新たな課題に直面しています。阪神大震災の経験と照らし合わせながら、今後の地域支援活動についても議論を深めていきましょう。

参加方法 : 参加費無料。事前に FAX (申し込み用紙) にてお申し込み下さい (定員 30 名)。席に余裕がある場合、当日参加も受け付けます。

主催 : 兵庫県こころのケアセンター

(H25 年度厚生労働科学研究費補助金障害者対策総合研究事業 「東日本大震災における精神疾患の実態についての疫学的調査と効果的な介入方法の開発についての研究」)

会場地図 :



兵庫県こころのケアセンター 中研修室

阪神電鉄 阪神春日野道駅より南へ徒歩約8分

阪急電鉄 阪急春日野道駅より南へ徒歩約16分

JR 神戸線 灘駅から南西へ徒歩約25分

申し込み先 : 兵庫県こころのケアセンター 相談室 FAX : 078-200-3019

..... (申し込み用紙)

所属		職種	
連絡先	Tel ()	氏名	